

■ 目標値未達成の要因について

法人名	株式会社 大阪国際会議場
-----	--------------

〔1〕

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
主要3施設稼働率 (10階会議室、メインホール、イベントホール) (使用した日数÷主要3施設すべてを使用した場合の日数)	%	89.5	82.9	△ 6.6

未達成の要因					要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応	
①	仮予約後、本予約に至らなかった催事が複数見られたことによる。				・仮予約後に本予約に至らなかった催事が多かったのは、ホテル宿泊代金の高騰や宿泊場所がないといった、万博が開催されたR7年度特有の要因があった。仮予約の取り消しは時期が読みづらく、再営業がかけづらいため、他の催事で埋めることができなかったことが未達成の要因である。					→ ・仮予約時に、開催の確度を確認するとともに、仮予約後も継続してフォローを行い、本予約に繋げる。 ・本予約に至らなかった場合でも、速やかに新たな営業に繋がられるよう、今まで以上に、開催の確度等について顧客とコミュニケーションを取りながら、逐次確認する。	
	関連項目名	—	単位	—	R7当初想定値	—	R7実績値	—	差		

■ 目標値未達成の要因について

法人名	株式会社 大阪国際会議場
-----	--------------

〔2〕

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
お客様満足度(再利用の意向)	%	98.0	97.3	△ 0.7

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	再利用の意向を確認する「また利用したいと思うか?」という項目に対して、「あまり思わない」「思わない」の回答は両方とも0件であったものの、「わからない」と回答された方が複数名いたため。			・「わからない」の選択肢については、明確にまた利用したいという意思表示ではないことから、不満足として取り扱っている。ただ、アンケートの自由記述欄にも具体的な理由はなく、「わからない」と回答された要因は不明である。						 ・このアンケートの他に、施設利用料100万円以上の催事主催者へのヒアリング内容を踏まえながら、満足度を高める取組については継続する。 ・「わからない」と回答された場合の取扱いについては、令和8年度より、満足・不満足 of のどちらでもないものとする。
	関連項目名	「わからない」と回答された割合	単位	%	R7当初想定値	—	R7実績値	2.7	差	—